

科目名	日本語学の基礎Ⅰ	
担当者	安本 真弓 / YASUMOTO, Mayumi	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	言葉は変化するものであり、その変化の結果、古代の日本語は現在の姿になった。では、日本語はどのように変化してきたのだろうか。また、なぜ変化したのだろうか。ここでは、日本語の歴史の概要を把握したうえで、日本語の歴史をとらえるための視点について解説する。
	到達目標	1. 日本語の歴史について、その流れを略述し、重要事項が説明できるようになる。 2. 日本語の歴史、および言語の変化に関する問題点に気付くことができ、その問題について考える姿勢を身につける。
授業計画	(1) ガイダンス (2) 漢字の移入 (3) 奈良時代の資料 (4) 奈良時代の音韻・語彙・文体 (5) 奈良時代の文法 (6) 平安時代の文字・音韻 (7) 平安時代の語彙・文体 (8) 平安時代の文法① (9) 平安時代の文法② (10) 鎌倉時代の文字・音韻 (11) 鎌倉時代の語彙・文体 (12) 鎌倉時代の文法 (13) 室町時代の文字・音韻・語彙・文体 (14) 室町時代の文法 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業内容をよく復習すること。
使用教材・参考文献	【教】近藤泰弘他『新訂日本語の歴史』放送大学振興会、2005年、ISBN 4595305474 【参】山口仲美『日本語の歴史』岩波新書、2006年、ISBN 4004310180	
成績評価方法と基準	<基準>日本語の文字・音韻・語彙・文体・文法について、基礎的なことが理解できている。 <方法>テスト70%、レポート20%、受講態度10%	
備考	「日本語学の基礎Ⅱ」も受講することが望ましい。	